

## 長崎県生物多様性保全戦略の進捗状況について

### 1. 計画の概要

本県における生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、生物多様性基本法及び「長崎県未来につながる環境を守り育てる条例」に基づき、本県の生物多様性地域戦略となる「長崎県生物多様性保全戦略（県戦略）」を平成21年3月に策定しています。

現在は、平成26年12月に策定した「長崎県生物多様性保全戦略2014-2020」により、2050年目標の達成を通じて、長崎県の恵み豊かな生物多様性の保全とその持続可能な利用を基礎とした活力あふれる地域づくりを進め、『いきものと人々がにぎわう「ながさきの未来環境』』の実現を目指しています。

#### 2050年目標

- ①種の絶滅を回避する
- ②多様な生態系の保全、再生を図る
- ③持続可能な利用を進める
- ④生物多様性への関心を高め、行動へとつなげる
- ⑤生物多様性に配慮した取組を広げる

また、2050年目標を達成するため、2020年度（令和2年度）までに重点的に取り組むべき行動の方向性を「行動目標」として掲げて、取り組む施策を行動計画として定めており、5つの行動目標ごとに、2020年度までに取り組む施策を展開しています。

#### 行動目標

- ①自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する
- ②人とふるさとの自然とのつながりを回復する
- ③多様な地域資源の活用を進める
- ④生物多様性の恵みにふれる機会を増やす
- ⑤生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める

## 2. 進捗状況の評価結果

本戦略の行動計画において、可能なものについては指標を設定しています。

本戦略の推進にあたっては、毎年度、44 の取組の実施状況と 40 の指標の達成状況を客観的に把握しています。

### (1) 取組の実施状況

令和元年度に実施した取組（事業）は以下のとおりです。（○実施、●未実施（終了等））  
令和元年度は、行動計画にある 44 の取組の内、37 の取組を実施しています。

### 行動目標① 自然環境の監視と種の保護・生態系の保全を強化する

#### (1) 希少種のモニタリングと法令に基づく規制制度の運用

○ツシマヤマネコ保護増殖事業

○希少野生動植物種保全事業費（希少野生動植物種の指定の検討、保護・保全が必要な種に係る自然環境保全地域や希少野生動植物種保存地域の指定、拡大）

#### (2) 固有種の保護

○緑といきもの賑わい事業（法令に基づく保全地域等の保全事業(外来生物の除去等)、希少野生動植物の保護増殖事業（希少種の生息地保護等）、生物の生息・生育空間の創出事業等の推進、市町や民間団体への支援）

○鳥獣保護費

#### (3) 外来生物・移入種対策

○緑といきもの賑わい事業（再掲）、○鳥獣保護費（再掲）

#### (4) 鳥獣被害対策

○鳥獣保護費（再掲）

○地域で進める鳥獣対策推進事業（3 対策の重点指導、侵入防止柵設置、捕獲経費支援によるイノシシ捕獲、地域の捕獲隊整備等の実施）

#### (5) 鳥獣の保護

○鳥獣保護費（再掲）、○負傷鳥獣保護活動強化事業費

#### (6) 野鳥の鳥インフルエンザ対策

○鳥獣保護費（再掲）

#### (7) 海域環境の保全・回復

●水産環境整備事業＊終了、○漁場環境保全対策、○水産多面的機能発揮対策事業、

○離島漁業再生支援交付金（藻場の管理改善に取り組む離島の漁業集落の支援）

○資源管理計画の策定、●藻場回復技術実証推進事業＊終了、

○再生砂による浅場づくり実証試験事業、○海砂採取による海域影響調査

#### (8) 自然公園等の保全・管理

○自然公園計画検討費、○自然公園等の許認可業務

#### (9) 水質の安全

○汚水処理対策（公共用水域の水質改善及び環境保全のための汚水処理施設の普及促進）

●明日の大村湾を創る事業＊終了

#### (10) 漂流漂着ごみ対策

○漂流漂着ごみ対策、○大村湾水質保全対策事業

(1 1) 生物多様性に関する情報の整備・運用

●ふるさと自然再生事業(H26~28)\*終了

## 行動目標② 人とふるさととの自然とのつながりを回復する

(1) 生産活動と多様な主体との連携の推進

○森林ボランティア等の活動支援

(2) 生物多様性に配慮した生産活動の実施

○人と環境にやさしい農業対策事業、○環境保全型農業直接支援対策事業費

○農業農村整備事業

(3) 森林等の多面的機能の発揮

○森林整備（搬出間伐の施行に対する支援）

○森林ボランティア等の活動支援（再掲）

○河川改修事業（多自然川づくりによる整備）

(4) 里地里山の保全活用

○中山間地域等直接支払制度（耕作放棄地の発生防止活動や多面的機能の確保に向けた活動を支援）

○ふるさと自然再生事業（再掲）

(5) 有害鳥獣、外来生物による被害の防止

○地域で進める鳥獣対策推進事業（再掲）

## 行動目標③ 多様な地域資源の活用を進める

○人と環境にやさしい農業対策事業（再掲）、○自然環境情報の共有化と発信、

○バイオマス資源の活用、○エコツーリズムの推進

## 行動目標④ 生物多様性の恵みにふれる機会を増やす

(1) 自然公園等の環境美化

○未来環境条例に基づくごみの投げ捨て等防止重点地区等の指定、

○一斉清掃、○国立公園清掃活動補助金

(2) 自然とのふれあいの促進

○西海国立公園リニューアル整備事業（自然公園等総合整備事業費\*終了）、

●自然に親しむ運動\*終了、○鳥獣保護費（再掲）

(3) 保全活動への多様な主体の参加促進

●美しいふるさと推進大会\*終了、○ながさき環境県民会議、

○諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業、○環境アドバイザー派遣制度、

○森林ボランティア等の活動支援（再掲）、○ながさきグリーンサポーター育成事業、

○自然環境情報の共有化と発信（再掲）

## 行動目標⑤ 生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める

(1) 生物多様性に関する情報の整備

○自然環境情報の共有化と発信（再掲）、○ふるさと自然再生事業（再掲）

○希少野生動植物種保全事業費（モニタリング調査）（再掲）

(2) 環境に配慮した取組の推進

○環境影響評価の審査、○県庁EMS、●公有地化事業\*実施する機会がなく未実施、

○自然公園計画検討費・自然公園等の許認可業務（再掲）

また、行動目標毎の事業費の実績は次のとおりです。

行動目標	H30 年度実績 (千円)	R1 年度実績 (千円)
①自然環境の監視と種の保護・生態系の保存を強化する	10,828,940	10,517,288
②人とふるさとの自然とのつながりを回復する	4,963,754	5,334,935
③多様な地域資源の活用を進める	466,024	331,648
④生物多様性の恵みにふれる機会を増やす	62,689	27,520
⑤生物多様性に関する情報の整備と環境に配慮した取組を進める	2,013	2,239
合 計	16,323,420	16,213,630

なお、個々の取組の状況は別添の「行動計画の取組の実施状況」のとおりです。

## (2) 指標の達成状況

令和元年度の指標の達成状況の結果を取りまとめたものを下表に示しています。

行動計画にある40の指標の内、29の指標は達成及び達成見込みであります。9の指標は目標を達成できていません。

区分	指標数
目標達成及び達成見込み	29
目標は達成しないものの前進している	8
目標達成できず策定時より後退	1
未確定、未集計	2
合 計	40

主な指標の達成状況は次のとおりです。

行動目標	事業の指標	目標値	R1 年度達成値
行動目標①	絶滅危惧種数(絶滅危惧種Ⅰ類及びⅡ類掲載種数)	増加させない 863種(H23年度)	890種 (H28中間見直し時)
行動目標①	生物多様性保全事業等によって守られた希少野生動植物の種類	5種以上/年 40種(H32年度)	5種 累計35種
行動目標②	森林ボランティア活動参加数	4,800人 (H26年度)	10,185人
行動目標②	森林整備面積	1,480ha (H26年度)	2,081ha
行動目標③	HP等での情報の発信回数〔自然環境課〕	50回/年以上	57回

行動 目標④	「生物多様性」の言葉の認知度(県政アンケート)	70%(H32年度)	59%
行動 目標④	自然への関心度(県政アンケート)	70%(H32年度)	67%
行動 目標④	県戦略の認知度(県政アンケート)	25%(H32年度)	10%
行動 目標④	自然とのふれあい施設の整備・改修数	1箇所以上/年 (H32年度)	3箇所
行動 目標⑤	希少種モニタリングの実施回数	25回/年 (H32年度)	38回

なお、個々の指標の達成状況は別添の「行動計画の指標の達成状況」のとおりです。

### 3. 計画の見直し

本戦略の行動計画の期間が令和2（2020）年度末で終期を迎えるため、令和元年度より見直し作業を行っています。

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標	整理番号	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H30実績		R1実績	
					概要	事業費	概要	事業費
①	1	ツシマヤマメコ保護増殖事業	対馬のみに生息し、国内希少野生動植物種であるツシマヤマメコの生息状況をモニタリング調査する。	自然環境課	環境省からの委託を受けてツシマヤマメコ生息状況モニタリング調査を実施	14,000	環境省からの委託を受けてツシマヤマメコ生息状況モニタリング調査を実施	13,586
①	2	希少野生動植物種保全事業費	平成22年度末に改訂したレッドリスト掲載種のモニタリング調査を実施するとともに、保護が必要な種や規制地域の指定作業を実施する。	自然環境課	レッドリスト掲載種のモニタリング調査を実施するとともに、希少野生動植物種保存地域の指定を実施 また、有識者ヒアリングや市町アンケート等を実施し、県内に生息生育する外来生物リストの作成作業等を実施	1,285	レッドリスト掲載種のモニタリング調査を実施するとともに、希少野生動植物種保存地域の指定を実施 また、長崎県外来種リストを策定	1,060
①	3	緑といきもの賑わい事業	条例に基づく保全地域等の保全事業(外来生物の除去等)、希少野生動植物の保護増殖事業(希少種の生息地保護等)を県、市町、民間の各主体が連携して推進する。	自然環境課	県事業として3箇所、市町・民間への補助事業として6箇所、計9箇所を実施	12,202	県事業として3箇所、市町・民間への補助事業として5箇所、計8箇所を実施	8,438
①	4	鳥獣保護費	野生鳥獣の保護と適正な管理を図るため、鳥獣保護区の指定管理、ガンカモ調査、外来生物に係る情報の収集・発信・ツシマヤマメコに関する啓発活動、シカ等による生態系被害対策等を推進する。	自然環境課	【鳥獣保護区】国指定3箇所、県指定106箇所、計109箇所の指定、更新及び管理を実施 【ガンカモ調査】毎年1月中旬に、県内45地点で調査を実施 【外来生物情報収集等】 【ツシマヤマメコ啓発活動】 【シカ等による生態系被害対策】	4,168	【鳥獣保護区】国指定3箇所、県指定106箇所、計109箇所の指定、更新及び管理を実施 【ガンカモ調査】毎年1月中旬に、県内45地点で調査を実施 【外来生物情報収集等】 【ツシマヤマメコ啓発活動】 【シカ等による生態系被害対策】	4,254
①	3	緑といきもの賑わい事業(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)	
①	4	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)	
①	4	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)	
①	5	地域で進める鳥獣対策推進事業	「防護」「棲み分け」「捕獲」の3対策を地域ぐるみで総合的に行うことで、農作物等への被害を防止する。また、鳥獣を適正な個体数に調整することで森林被害や生活被害の防止にも繋げる。	農山村対策室	・3対策の重点指導 47地区 ・イノシシ等の侵入防止柵設置距離 661km(国庫) ・捕獲報奨金によるイノシシ捕獲 33,674頭(県単) ・地域の捕獲隊整備 37チーム	764,550	・3対策の重点指導 47地区 ・イノシシ等の侵入防止柵設置距離 424km(国庫) ・捕獲経費支援によるイノシシ捕獲 35,349頭(国庫) ・地域の捕獲隊整備 17チーム	628,912
①	4	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)	

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標	整理番号	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H30実績		R1実績	
					概要	事業費	概要	事業費
①	6	負傷鳥獣保護活動強化事業費	負傷鳥獣の救護施設、体制を整備し、より多くの負傷鳥獣の野生復帰を推進する。	自然環境課	(公社)長崎県獣医師会及び西海国立公園九十九島動物園(指定管理者)させほ・パール・シー(株)に負傷鳥獣の保護・収容・治療・野生復帰訓練を委託して実施	5,500	5,500	5,500
①	4	鳥獣保護費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)
①	7	水産環境整備事業	藻場回復のため、現存する藻場の隣接箇所において着定基質を設置し、藻場を造成する。(橘湾)	漁港漁場課	—	—	—	—
①	8	漁場環境保全対策	漁業者団体へ委託し、タイラギ、アサリ等の二枚貝を捕食するナルトビエイの駆除を有明海で実施する。	漁港漁場課	ナルトビエイの駆除実施により、二枚貝等の食害防止に寄与した。 H30年度駆除数:50尾	156	156	1,200
①	9	水産多面的機能発揮対策事業	藻場・干潟・浅場の維持・回復等保全活動を行う組織を支援する。	漁港漁場課	取組組織数も微増しており、継続した取組が行われている。 H30年度組織数:82	57,004	57,004	59,071
①	10	離島漁業再生支援交付金	藻場・干潟・浅場の維持・回復等保全活動を行う組織を支援する。	漁政課	藻場の管理・改善に取り組み、離島の漁業集落を支援する。	586,414	586,414	586,122
①	11	資源管理計画の策定	資源の維持、増大と資源の持続的利用を図るために、自ら休漁期間の設定や小型魚の再放流などを取り決めた資源管理計画を策定する。	漁業振興課	【資源管理計画の策定】 9件の資源管理計画が新たに作成された。	12,963	12,963	11,635
①	12	藻場回復技術実証推進事業	海域特性や藻場の種類、地域の取組体制を踏まえ、総合水産試験場で開発された藻場回復手法をモデル地区で実施し、効果を他地域に普及拡大する。	漁港漁場課	—	—	—	—
①	13	再生砂による浅場づくり実証試験事業	陶磁器くずや廃ガラスを原料とした再生砂を用いて人工的に浅場を造成し、浅場造成の有効性を検証する。	地域環境課	時津町崎野自然公園地先において浅場造成が完了した。	14,800	14,800	8,291の一部
①	14	海砂採取による海域影響調査(モニタリング)	海砂採取の海域への影響調査(モニタリング)を実施し、海砂採取跡海域の海域環境等のデータ蓄積を図り、経年変化を確認して、海砂採取の海域環境への影響の有無を確認する。	監理課	【海砂採取による海域影響調査】 ・海底映像調査、海砂採取時の濁度監視調査を行うほか、次の調査を四半期毎に実施 ①生物環境調査、②底質調査、③付着生物調査、④魚介類調査 ・夏季、秋季、冬季はH30年度に実施	25,639	25,639	7,847

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標	整理番号	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H30実績		R1実績	
					概要	事業費	概要	事業費
①	15	自然公園計画の検討	すぐれた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、公園計画の再検討を実施する。	自然環境課	公園計画に係る審議案件なし	178	公園計画に係る審議案件なし	157
①	16	自然公園等の許認可業務	すぐれた自然風景地の適正な保護と利用の増進を図るため、自然公園法等に基づく許認可業務を実施する。	自然環境課	自然公園法等に基づく許認可業務を実施	-	自然公園法等に基づく許認可業務を実施	-
①	17	汚水処理対策	公共用水域の水質改善及び環境保全のため、全県的に汚水処理施設の普及促進を図る。	水環境対策課	流域下水道1箇所、公共下水道16市町、農業集落排水事業6市町、浄化槽設置整備事業19市町	9,315,747	流域下水道1箇所、公共下水道16市町、農業集落排水事業6市町、浄化槽設置整備事業19市町	9,173,751
①	18	明日の大村湾を創る事業	大村湾の水質改善及び環境保全のため、負酸素水塊及び赤潮対策としてエアレーション等を実施する。	地域環境課	-	-	-	-
①	19	漂流漂着ごみ対策	海辺の漂着ごみの具体的内容(ごみの国籍、種類や量など)についての解析や環境教育などを含んだ発生抑制対策など各種漂着物対策を推進することで、海岸の良好な景観、多様な生態系の確保、生活衛生の向上、水産資源の保全等総合的な海岸環境の保全を図る。	資源循環推進課	【海辺の漂着物調査】ごみの国籍、種類や量などの調査を県内4保健所管内で実施した。	10	【海辺の漂着物調査】ごみの国籍、種類や量などの調査を県内4保健所管内で実施した。	0
①	19	漂流漂着ごみ対策	海辺の漂着ごみの具体的内容(ごみの国籍、種類や量など)についての解析や環境教育などを含んだ発生抑制対策など各種漂着物対策を推進することで、海岸の良好な景観、多様な生態系の確保、生活衛生の向上、水産資源の保全等総合的な海岸環境の保全を図る。	資源循環推進課	【釜山市との交流事業】釜山広域市との交流事業(海岸清掃とワークショップ)を7月に五島市で実施。	9,824	【釜山市との交流事業】釜山広域市との交流事業(海岸清掃とワークショップ)を10月に新上五島町で実施した。	11,255
①	20	大村湾水質保全対策	環境美化や水質保全等のため、大村湾をきれいにする会が事業主体となって行う浮遊ごみ除去対策事業への補助等を行う。	地域環境課	年11回の清掃を実施し、浮遊ゴミ24,160kgを回収・処分した。	4,500	年11回の清掃を実施し、浮遊ゴミ21,410kgを回収・処分した。	4,500
②	21	ふるさと自然再生事業	身近なふるさとの自然環境の保全、再生、活用を図るため、生物多様性評価地図を活用し、県立公園の保全手法の見直し、地域性あふれる自然環境の再生を推進する。	自然環境課	-	-	-	-



長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標	整理番号	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H30実績		R1実績	
					概要	事業費	概要	事業費
②	22	森林ボランティア等の活動支援	森林所有者や地域住民等が協力して森林の有する多面的機能を発揮させるための保全活動及び山村地域の活性化に資する取組に対し支援する。	林政課	森林ボランティア支援センターを中心とした取組みにより、森林環境税を活用し、植樹や森林整備など森林ボランティア団体の活動を支援した。	15,672	森林ボランティア支援センターを中心とした取組みにより、森林環境税を活用し、植樹や森林整備など森林ボランティア団体の活動を支援した。	9,675
②	23	人と環境にやさしい農業対策事業	長崎県版GAP、JGAP等を推進することにより、農産物の安全性の確保、環境保全型農業の推進等を効果的に実施できる信用力の高い集団・農業者を育成するとともに、より環境保全効果の高い農法の確立と普及推進のため、環境にやさしい農業技術の開発、農業者に対する濃密な普及啓蒙、地域に適した生産方式の実証及び生産技術指導等や各種の取組へ支援・指導する。	農業経営課	GAPの推進のため、GAP研修会の開催や農場評価の実施によるGAP指導員の育成と農業者がGAP認証取得に要する経費へ支援を行った。(支援農業者数7経営体) 有機農産物のマルシェや有機農業者間の交流会の開催により、販路拡大や農業者の意識向上を図った。 環境保全型農業の推進のため、土壌分析に基づく肥培管理指導や窒素負荷低減のための施肥技術の開発を行った。	10,176	GAPの推進のため、GAP研修会の開催や農場評価の実施によるGAP指導員の育成と農業者がGAP認証取得に要する経費へ支援を行った。(支援農業者数10経営体) 有機農産物のマルシェや有機農業者間の交流会の開催により、販路拡大や農業者の意識向上を図った。 環境保全型農業の推進のため、土壌分析に基づく肥培管理指導や窒素負荷低減のための施肥技術の開発を行った。	10,043
②	24	環境保全型農業直接支援対策事業費	化学肥料・化学合成農薬の使用量を通常量の5割以上低減する取組に併せてカバー・クロップ、堆肥の施用及び有機農業等、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果のある取組を行う個々の農業者に対して支援を行う。	農業経営課	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組み農業者に対する支援を行った。(取組面積1,556ha) 生物多様性の確認のための生き物調査を県内3か所の水田で実施した。	86,644	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組み農業者に対する支援を行った。(取組面積1,577ha)	87,617
②	25	農業農村整備事業	事業計画策定時に環境情報協議会を開催する。	農村整備課	県央、島原、県北、五島、舌岐の各振興局で環境情報協議会を開催した。	269	県央、島原、県北、五島、舌岐の各振興局で環境情報協議会を開催した。	307
②	26	森林整備	施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ計画的に行う。撤出間伐の施業に対する支援を行う。	森林整備室	撤出間伐を効率的に実施するため、施業の集約化、路網整備などコスト削減を図り、撤出間伐の施業を支援した。	866,487	撤出間伐を効率的に実施するため、施業の集約化、路網整備などコスト削減を図り、撤出間伐の施業を支援した。	980,550
②	22	森林ボランティア等の活動の支援(再掲)	(再掲)	林政課	(再掲)		(再掲)	
②	27	河川改修事業	多自然川づくりを通じて、生物多様性にできるだけ配慮して事業を実施する。	河川課	県内25河川において、多自然川づくりによる整備を進める。	2,896,000	県内25河川において、多自然川づくりによる整備を進める。	3,160,000
②	28	中山間地域等直接支払制度	中山間地域等において耕作放棄の原因となる農業生産条件の不利性を直接補正する直接支払いを実施し、適正な農業生産活動の維持を通じ、農地の多面的機能の発揮を図る。	農山村対策室	中山間地域等直接支払事業により、農業生産活動を将来に向けて維持するため、耕作放棄地の発生防止などの活動を支援した。	1,088,506	中山間地域等直接支払費により、農業生産活動を将来に向けて維持するために耕作放棄地の発生防止活動や多面的機能の確保に向けた活動を支援した。	1,086,743

(千円)

(千円)

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標	整理番号	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H30実績		R1実績	
					概要	事業費	概要	事業費
②	21	ふるさと自然再生事業(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(再掲)	(再掲)	事業費
③	5	地域を進める鳥獣対策推進事業(再掲)	(再掲)	農山村対策室	(再掲)	(再掲)	(再掲)	
③	23	人と環境にやさしい農業対策事業(再掲)	(再掲)	農業経営課	(再掲)	(再掲)	(再掲)	
③	29	自然環境情報の共有化と発信	県民や自然保護団体との間の自然環境情報の共有化、県民や自然保護団体の取組のPRにより、活動の促進と支援を行う。また、自然環境情報の公開により、事業計画者の環境配慮を促進する。	自然環境課	県民や自然保護団体への周知を行っている。また、随時自然保護団体等との情報交換を行った。	-	県HPIに自然環境情報を掲載し、県民や事業者への周知を行っている。また、随時自然保護団体等との情報交換を行った。	-
③	30	バイオマス資源の活用	森林整備を進めるため、木質バイオマスの利活用を推進する	林政課	森林施業の集約化や路網整備・機械化を通じて施業の低コスト化への対する支援を行い、木質バイオマス材の生産量の拡大を図った。	466,024	森林施業の集約化や路網整備・機械化を通じて施業の低コスト化への対する支援を行い、木質バイオマス材の生産量を拡大した。	331,648
④	31	エコツーリズムの推進	エコツーリズムによるジオパークや自然公園等の地域資源の活用を通して、地域の振興と自然環境の保全を図る。	自然環境課	雲仙において、エコツアーのコンテンツ造成の研修等を実施。	5,180	西海国立公園及び舌岐対馬国立公園において、エコツアーの利用環境向上等を図るため、トイレの洋式化を実施。	2,887
④	32	未来環境条例に基づくごみ回収捨て等防止重点地区の指定	「ごみ回収捨て等防止重点地区」、「喫煙禁止地区」、「自動販売機設置届出地区」において、指定地区の周知・啓発活動及び巡回指導を行う。	資源循環推進課	各保健所と連携しながら、条例の周知・啓発と各指定地区の巡回指導を実施	4,835の一部	各保健所と連携しながら、条例の周知・啓発と各指定地区の巡回指導を実施	2,799の一部
④	33	一斉清掃	環境月間である6月の「空き缶回収キャンペーン」や県及び県保健環境連合会において8月を「クリーンなさがき推進月間」と位置付け、環境美化活動を実施する。	資源循環推進課	県下統一実施日(月間)を中心に、県下21市町で環境美化活動を実施。	-	県下統一実施日(月間)を中心に、県下21市町で環境美化活動を実施。	-
④	34	国立公園清掃活動補助金	雲仙天草国立公園、西海国立公園の重点清掃地域において、快適な公園利用が図られるよう利用者によるごみ等の収集、処分等の清掃を、国・県・市・地元団体が協力して実施する。	自然環境課	西海国立公園(鹿子前、弓張岳、平戸、福江)、雲仙天草国立公園(雲仙)において清掃事業を実施	2,592	西海国立公園(鹿子前、弓張岳、平戸、福江)、雲仙天草国立公園(雲仙)において清掃事業を実施	2,592

(千円)

(千円)

(千円)

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標	整理番号	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H30実績		R1実績		(千円)
					概要	事業費	概要	事業費	
④	35	自然公園等総合整備事業費	自然公園の適正な利用を推進するため、既存施設のリニューアル、新規箇所での整備を進める。また、中小規模の市町事業に対し助成を行い、公園施設の充実を図る。	自然環境課	-	-	-	-	事業費
④	35	西海国立公園リニューアル整備事業	西海国立公園において、利用者の増加に対応できない施設や老朽化が進んでいる施設があるため、これらについて再整備し、西海国立公園の適正利用を推進する。	自然環境課	51,192	西海国立公園内3箇所	西海国立公園内2箇所	19,761	
④	36	自然に親しむ運動	自然公園において、自然観察会等を開催し、自然に親しむことを通じて自然保護思想の普及と自然公園の適正な利用を推進する。	自然環境課	-	-	-	-	
④	4	鳥獣保護費	(再掲)	自然環境課	(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)	
④	37	美しいふるさと推進大会	地球温暖化などの地球規模の問題から、身近なごみの問題まで、環境に関する県民の関心と理解を深め、「環境にやさしい長崎県」の実現を目的として、県、県保健環境連合会の主催による推進大会を毎年度開催する。	資源循環推進課	-	-	-	-	
④	38	ながさき環境県民会議	ながさき環境県民会議において、「ゴミゼロながさき実践計画」や地球温暖化防止対策を推進するための「レインボープラン」の進行管理を行い、県民総ぐるみでの環境保全活動を推進する。	地域環境課	20,489	県民、事業者、NPO等がそれぞれ役割を果たしながら、自主的にかつ相互に連携して具体的な取り組みを実施した。	県民、事業者、NPO等がそれぞれ役割を果たしながら、自主的にかつ相互に連携して具体的な取り組みを実施した。	31,529の一部	
④	39	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	諫早湾干拓調整池の恒久的な水質保全を図るとともに、水辺環境や生態系を住民とともに守り育み、自然豊かな水辺空間づくりを推進する。	地域環境課	3,725	①環境保全・創造のための住民活動の推進 ISEネットを中核とした環境活動の取り組み(イベント等での啓発活動の実施)	諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」を推進するため、行動計画の進行管理、生活排水対策活動促進、流入河川水質汚濁負荷源調査を実施した。	2,280	
④	22	森林ボランティア等の活動支援(再掲)	(再掲)	林政課	(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)	
④	40 41	環境保全活動推進事業	地域で開催される研修会・学習会等に学識経験者や実践活動家からなる環境アドバイザーを派遣する。 また、環境学習総合サイト「ながさきグリーンサポーターズクラブ」により、環境関連情報の発信、環境リーダーの拡大、ネットワークの構築を行う。	県民生活環境課	2,634	【環境アドバイザー派遣制度】 地域で開催される研修会・学習会等に環境アドバイザーを72回派遣 【ながさきグリーンサポーター】 環境学習総合サイト「環境活動eネット」が「ながさき」及びメールマガジンによる環境情報の発信及び、環境リーダー交流会の実施。	【環境アドバイザー派遣制度】 地域で開催される研修会・学習会等に環境アドバイザーを72回派遣 【ながさきグリーンサポーター】 環境学習総合サイト「環境活動eネット」が「ながさき」及びメールマガジンによる環境情報の発信。	2,121の一部	

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の取組の実施状況

行動目標	整理番号	事務・事業名	事業の概要	担当課名	H30実績		R1実績		事業費	事業費
					概要	概要	概要	概要		
④	29	自然環境情報の共有化と発信(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)			
⑤	29	自然環境情報の共有化と発信(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)			
⑤	21	ふるさと自然再生事業(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)			
⑤	2	希少野生動物種保全事業費(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)			
⑤	42	環境影響評価の審査	長崎県環境影響評価条例、環境影響評価法及び個別法等にかかる開発行為について、環境に対する影響を審査し、環境保全措置を指導する。	地域環境課	長崎県環境影響評価条例、環境影響評価法及び個別法等にかかる開発行為の環境に対する影響について、環境情報システムも活用しながら判定及び審査を実施した。	2,013	2,013	長崎県環境影響評価条例、環境影響評価法及び個別法等にかかる開発行為の環境に対する影響について、環境情報システムも活用しながら審査を実施した。	2,239	
⑤	43	県庁EMS(公共工事の環境配慮推進)	環境に影響を及ぼすおそれのある開発事業について、長崎県環境基本計画環境配慮指針に基づく確認と評価、結果の検証が実施されているか監査する。	地域環境課	平成29年度から効率化を図った県庁EMSを運用。公共工事等実施所属で環境配慮に係るセルフチェックが実施され、事務局へ件数が報告された。	20,489	20,489	平成29年度から効率化を図った県庁EMSを運用。公共工事等実施所属で環境配慮に係るセルフチェックが実施されているが、R1実績については集計中。	31,529	の一部
⑤	44	公有地化事業(用地基金)	必要に応じて良好な自然環境を有する地域を購入する。	自然環境課	購入すべき案件なし	0	0	購入すべき案件なし	0	
⑤	15 16	自然公園計画検討費・自然公園等の許可業務(再掲)	(再掲)	自然環境課	(再掲)		(再掲)	(再掲)		

(千円)		(千円)	
行動目標①	H30実績	10,828,940	行動目標① R1実績
行動目標②	H30実績	4,963,754	行動目標② R1実績
行動目標③	H30実績	466,024	行動目標③ R1実績
行動目標④	H30実績	62,689	行動目標④ R1実績
行動目標⑤	H30実績	2,013	行動目標⑤ R1実績
<b>H30実績計</b>		<b>16,323,420</b>	<b>R1実績計</b>
			<b>16,213,630</b>

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標	整理番号	指標	担当課名	基準値	目標値	H30達成値	R1達成値	達成状況	備考
①	1	レッドリストにおけるツシヤママネコのカテゴリー	自然環境課	I A類(H24年度)	I B類(H32年度)	I A類	I A類	△	
①	2	絶滅危惧種数(絶滅危惧 I 類及び II 類掲載種数)	自然環境課	863種(H23年度)	増加させない(レッドリスト見直し時)	890種	890種	×	
①	3	ツアマカスズメバチの侵入	自然環境課	—	対馬以外に侵入させない(H32年度)	対馬以外に定着させない	対馬以外に定着させない	○	
①	4	生物多様性保全事業等によって守られた希少野生動植物の種類	自然環境課	5種(H25年度)	5種以上/年 40種(H32年度)	5種 (累計30種)	5種 (累計35種)	○	
①	5	負傷鳥獣の野生復帰率	自然環境課	—	40%(H27年度)	46.5%	41.4%	○	
①	6	生物多様性保全事業等実施箇所数	自然環境課	17箇所(H24年度)	22箇所(H27年度) 55件(H32年度)	49箇所	52箇所	○	目標再設定 * 環境基本計画
①	7	環境保全活動等に取り組む組織数(離島漁業再生支援交付金、水産多面的機能発揮対策事業)	漁政課	125地区(H25年度)	125地区(H27年度)	水産多面:82地区 離島再生:66地区 計148地区	水産多面:84地区 離島再生:66地区 計150地区	○	
①	7	環境保全活動等に取り組む組織数(離島漁業再生支援交付金、水産多面的機能発揮対策事業)	漁港漁場課						
①	8	県土に占める自然公園の割合	自然環境課	18%(H25年度)	18%(H27年度)	18%	18%	○	
①	9	県立自然公園見直し等計画数	自然環境課	1計画(H25年度)	6計画(H32年度)	H28年度に6計画終了	H28年度に6計画終了	○	
①	10	汚水処理人口普及率	水環境対策課	75.9%(H24年度)	80%(H27年度) 85%(H32年度)	80.9%	81.7%	△	目標再設定 * 環境基本計画
①	11	海岸漂着物の発生抑制対策、国際協力事業の実施回数	資源循環推進課	—	6回以上(毎年度) (H27年度)	6回	7回	○	
①	12	地域性あふれる身近な自然環境を活用保全していく活動地域数	自然環境課	2地域(H24年度)	5地域(H28年度)	—	—	○	H28までの目標

\* 進捗状況の凡例 ○:達成又は達成見込み、△:目標は達成しないものの前進している、×:目標達成できず策定時より後退している、—:未確定、未集計

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標	整理番号	指標	担当課名	基準値	目標値	H30達成値	R1達成値	達成状況	備考
②	13	県内におけるイノシシの農作物被害額	農山村対策室	約3.3億円(H24年度)	約2.3億円(H28年度)	1.4億円	未確定	—	
②	14	野生鳥獣被害防止3対策の適正な取組を指導する担い手(A級インストラクター)の育成	農山村対策室	350人(H25年度)	444人(H28年度)	450人	464人	○	
②	15	森林ボランティア活動参加数 ※単年度の参加者数	林政課	—	4,800人(H26年度)	10,162人	10,185人	○	
②	16	有機・特別栽培に取り組む面積	農業経営課	1,266ha(H24年度)	1,500ha(H27年度)	1,791ha	1,793ha	○	
②	17	森林整備面積	森林整備室	1,419ha(H25年度)	1,480ha(H26年度)	1,785ha	2,081ha	○	
②	18	中山間地域等直接支払制度交付対象面積	農山村対策室	9,594ha(H24年度)	10,000ha(H27年度)	9,850ha	9,853ha	△	
③	19	ジオツアー参加者満足度	自然環境課	—	80%(H32年度)	—	—	○	未実施 H29実施 100%
③	20	ジオツアーガイドの実践研修	自然環境課	—	1回/年以上(H27年度)	—	—	○	H27年度までの目標
③	21	エコツアーガイド養成講座の実施	自然環境課	—	1地域以上(H27年度)	—	—	○	H27年度までの目標
③	22	農業生産工程管理(GAP)取組件数	農業経営課	108件(H24年度)	140件(H27年度)	—	—	○	H27年度までの目標
③	23	ホームページ等での情報の発信回数	自然環境課	—	50回/年以上	79回	57回	○	
③	24	ホームページ等での情報の発信回数	農業経営課	—	50回/年以上	55回	56回	○	

\* 進捗状況の凡例 ○:達成又は達成見込み、△:目標は達成しないものの前進している、×:目標達成できず策定時より後退している、—:未確定、未集計

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標	整理番号	指標	担当課名	基準値	目標値	H30達成値	R1達成値	達成状況	備考
④	25	「生物多様性」の言葉の認知度(県政アンケート)	自然環境課	47%(H25年度)	70%(H32年度)	-	59%	△	
④	26	自然への関心度(県政アンケート)	自然環境課	関心がある64%(H25年度)	関心がある70%(H32年度)	-	67%	△	
④	27	県戦略の認知度(県政アンケート)	自然環境課	7%(H25年度)	25%(H32年度)	-	10%	△	
④	28	一般の人で生物多様性に関する取組を「行っている」または「行いたい」人の割合(県政アンケート)	自然環境課	70%(H25年度)	80%(H32年度)	-	86%	○	
④	29	「ごみ投げ捨て等防止重点区域内の指定前と比較した散乱ごみの割合	資源循環推進課	15%(H25年度)	10%(H27年度)	2%	7%	○	
④	30	自然公園利用者数	自然環境課	13,573千人(H24年度)	13,700千人(H27年度) 14,896千人(H32年)	14,538千人	14,069千人	△	目標再設定 *環境基本計画
④	31	実施イベントの満足度(親しむ運動・探鳥会)	自然環境課	-	80%(H32年度)	83%	96%	○	
④	32	自然とのふれあい施設の整備・改修数	自然環境課	-	1箇所/年以上(H32年度)	4箇所	3箇所	○	
④	33	ながさき環境県民会議開催回数	資源循環推進課	8回(H25年度)	8回/年(H26年度)	4回	4回	△	
④	34	環境学習等の開催回数(諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業)	地域環境課	3回/年(H25年度)	3回/年(H32年度)	3回	4回	○	
④	35	環境アドバイザー派遣回数	県民生活環境課	60回(H24年度)	70回/年(H24年度)	84回	72回	○	
④	36	ながさきグリーンサポーターズクラブ登録者数	県民生活環境課	-	2,000件(H28年度)	2,333件	2,734件	○	

\* 進捗状況の凡例 ○:達成又は達成見込み、△:目標は達成しないものの前進している、×:目標達成できず策定時より後退している、-:未確定、未集計

長崎県生物多様性保全戦略(H26年12月策定)行動計画の指標の達成状況

行動目標	整理番号	指標	担当課名	基準値	目標値	H30達成値	R1達成値	達成状況	備考
⑤	37	生物多様性フォーラム(意見交換会)の開催	自然環境課	—	毎年県下1地域で実施	1地域で実施	1地域で実施	○	
⑤	38	希少種モニタリングの実施回数	自然環境課	—	25回/年(H32年度)	79回実施	38回実施	○	
⑤	39	環境情報システムの構築	県民生活環境課	—	システムを構築する(H26年度)	—	—	○	システム構築(H26)
⑤	40	公共工事等の環境配慮	地域環境課	—	公共事業関係課における内 部監査の実施率100% (H32年度)	公共工事等環境配慮項目 チェックシートの実施件数を 記載した、県庁EMS様式第 1号(オフィス活動等取組結 果点検評価表) の提出率100%	集計中	—	

達成状況 集計表

○	29
△	8
×	1
—	2

\* 進捗状況の凡例 ○:達成又は達成見込み、△:目標は達成しないものの前進している、×:目標達成できず策定時より後退している、—:未確定、未集計